

# わかば

2019. 12. 14

(令和元年)

第19-32号

文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

教育目標 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

重点目標 **一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～(2年次)**

**来週は、学芸会です。(12:00～)・・・たくさんの方々のご来場をお待ちしています。**

来週12月21日(土) 12:00から学芸会を下記の日程で開催いたします。

どの学年も短い練習時間を活用して意欲的に練習に取り組んでいます。保護者の皆様にも、舞台や音響、照明の準備、幕間のプレゼン制作など、各方面でご協力を頂いております。多くの皆様に支えられて学芸会が開催できますことを、職員一同心より感謝致しております。

さて、学芸会は、日頃の学習の成果を発表することで、学校生活を豊かにしたり、表現力を育てたりすることが主たる目的です。また、練習や諸準備等に取り組むことで、やり遂げる達成感を味わわせ、自主性や協調性、責任感を育てるよい機会と考えます。学校としても、保護者や領事事務所、商工会などの学校関係機関、日系人会等を結ぶ又とない機会と考えます。

園児・児童生徒一人一人が輝く学芸会になれば、「期待登校・満足下校」ともなります。たくさんの方々のご来場を、心よりお待ちしております。

【日 時】 2019年12月21日(土) 12:00～15:30(予定)

【場 所】 ポートランド日本人学校(Hazelbrook Middle School)カフェテリア

**お願い**

◇保護者の皆様は、パスカードをご持参ください。



◇準備の都合上、会場内には11:30まで入れません。ご協力をお願い致します。

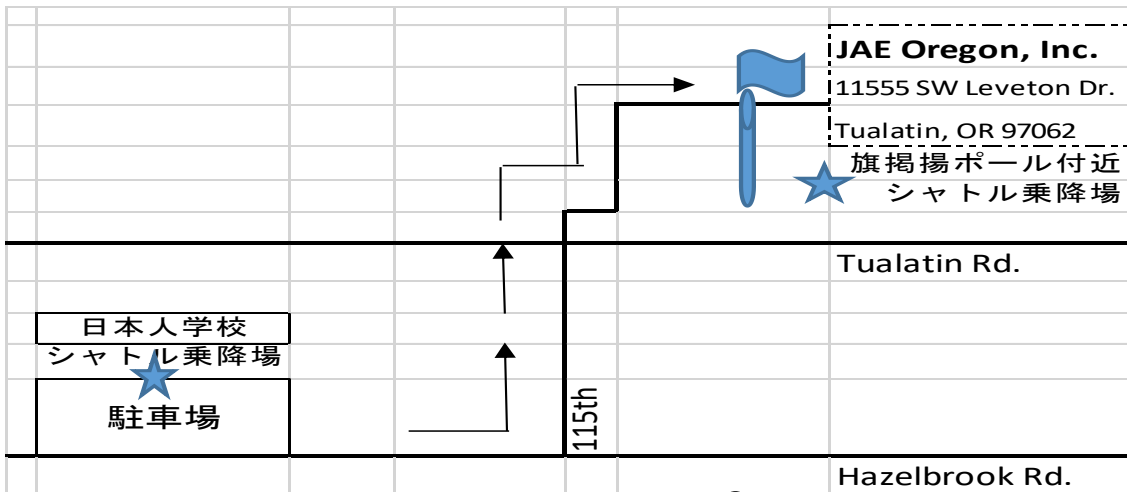
- ◇プログラムの進行状況によっては、演目が10分程度早く始まる場合がありますので、ご留意とご容赦をお願いいたします。
- ◇校内(ジムを含む)での飲食は禁止されています。昼食は済ませておいで下さい。
- ◇小さなお子様が走り回ったり騒いだりしますと学芸会に支障をきたしますので、ご観覧も常に保護者と共にして頂きますようお願い致します。
- ◇やむを得ずジムをお使いの時には、お子さんだけでなく、必ず保護者の同伴でお願いします。



**学芸会当日の駐車場について**

**○学校周辺の路上駐車は、ご遠慮ください。**

- 当日は混雑を避けるため、なるべく乗り合わせてご来場ください。
- 学校駐車場を利用する際には、誘導係の指示に従ってください。  
通路など駐車禁止区域への駐車は、緊急車両通行の妨げになりますのでご遠慮ください。
- 学校の駐車場以外に、JAE駐車場をお借りしています。  
JAE駐車場と学校間はシャトルバスを運行しますのでご利用ください。



# 児童生徒の作品紹介27



今回は、小6の作文、中2、中3の読書感想文をご紹介します。  
校長 信國 寿敏



6年生

「未来をよりよくするために」  
ブライインズ 朋生

未来がよりよくあるためには、自然を守ることが大切だ。そのためには、みんながゴミを見つけたら、ゴミ箱に捨てるのが大切だと思う。  
私は、タマジン川という本を読みました。その本では、いろいろな生物が書いてあります。その生物たちを見て、川がきたなくなると考えました。  
生物たちは、いなくなってしまうと思います。だからこそ、ゴミを捨てたりしてはいけないと思います。  
ゴミをひろっても、ひろってもゴミを道に捨てる人がいると思います。そのゴミをずっとひろっても、ゴミを捨てる人がやめないのです。それを止めるためにいろいろな所に、「ゴミを捨てるな」と書いたらやめるかもしれないと思います。  
このように、自然を守る事は、大切です。ゴミを分別したりすると世界が変わります。生き物たちも生き生きしてくらせると思います。  
それがよりよい未来につながっているのだと思う。



6年生

「未来がよりよくあるために」  
豊田 アンナ

私は平和な暮らしになるように、リサイクルとか、何回もつかえるものをかいたら、もっと木が切られずにすみます。木がもっとあると、空気がもつときれいになります。きれいな空気を吸うと、もっとけんこうにいいです。  
地球がもっとけんこうにいいように、緑になるようにしたらいいです。リサイクル、コンポストなど何回もつかい、ビーガンやベジタリアンになったら、地球がよりよくなります。タブレットを見ていた時、このようなことが書いてありました。  
「プラスチックは土になるまで、五百年ぐらしかかります。」  
だから、プラスチックじゃなくて紙がもっと地球にいいです。  
そして、何回もつかえるものもいいです。たとえば、紙のストローや何回もつかえるバックがいいです。そして、もう一回つかったものをつかえばいいです。そういうことは、バックパックを何年もつかうことや、ページがまだのこってるノートをつかうといいです。  
だから、リサイクルやコンポストにしたら、地球がよりよくなって、けんこうにようになります。だからみんなも地球とみんなのためにリサイクルやコンポストにしましょう。





私は、6年生の作文を数多く読み、リサイクルやリユース、ゴミの分別を進んでせねばと実際に行動しています。私の家での役割は、生ごみの処理です。毎日1回は、野菜や果物くずを畑に埋め、ゴミ減量に努めています。おかげで、確かに畑のミミズが増殖して、土壌がずいぶん柔らかくなっています。ちょっとばかり、「地球にいいことをしているかな。」と、自己満足しています。

中学部2年生 読書感想文

「世界で一番の贈り物」を読んで

黒堀 紗加

手紙の初め、私は「戦争中なのに幸せな気分とはなにかあったのだろう」と思った。戦争は人の命を奪うものであり、幸せ気分でするものではないのだ。しかし、この話を最後まで読んだとき、私は、この話を通して作者が伝えたかったことに気が付いた。

まず、手紙では人を信じるということ、人に対するやさしさの大切さ書かれていた。人を信じることができなければ、ドイツ兵が外套姿(がいとす)がたで近づいてきた時も彼らを撃っていただろう。撃つてしまえば、ドイツ兵も彼らを攻撃しただろう。また、ドイツ兵もイギリス兵が自分たちを撃たないと信じて、ライフルを持たずにイギリス兵のもとへ行ったのだ。

戦争中は武器などを大量に買うために資金が不足し、食べ物を得ることが困難になる。それは戦地でも同じだ。そんな状況の中、イギリス兵もドイツ兵も自らの食料を分け合ったのだ。それも敵同士でだ。ラム酒やソーセージ、パン、ケーキはそれぞれにとって大切な食糧である。同じ境遇に立たされたいる者同士、楽しみを分かち合い、やさしく接した先の平和だった。

ここまで考察して、題名の「世界で一番の贈り物」は、だれに対しての贈り物なのだろうと考えた。そして、ここにも信じるということ、やさしさの大切さが書かれていた。

※下段に続く

※続き

コニーさんが手紙を見た時、彼女はこう言った。「あなた、そう言ったものね。クリスマスには帰るって。ねえ、あなた。とうとう帰って来てくれたわね。なによりもううれしいプレゼントよ。」

この言葉から、「世界で一番の贈り物」をもらったのは、コニーさんだと考えた。最初の二つの文から、まだ彼女がジムが帰ってくるまで信じて、ずっと待っていたことが分かる。

作者が伝えたかった人間のやさしさ、それがいつでも、どこでも失われないうことをこの物語を読み、証明したいと思った。



【教科教員 田中先生のコメント】

この物語には、たくさんの優しい物語が書かれています。しかし、最後にコニーさんは長い間、夫を持ち続けたが帰ってこなかった。つまり、戦争を中断して仲よくクリスマスを送ってしまった兵士達は、また、翌日から殺し合いジムさんは殺されてしまったと言うことです。戦争を通して、また贈り物を通して深く考えさせられますね。

良い感想文が書けました。

中学部3年 単元感想文

「月の起源を探る」を読んで

市川 樹里

月は、地球と他の惑星が衝突した結果として誕生した。

月の誕生について考えたことがなかった私にとって、「巨大衝突説」の存在は驚きだった。本当にそれで月が出来たのなら、衝突してきた惑星はどうなるのか。仮説をどうやって検証したというのだろう。たくさん疑問が頭の中を駆け抜けた。

しかし、読み進めていくうちに、色々な証拠が提示され、この仮説に納得できるようになった。それと同時にコンピュータ技術の進歩に驚かされた。

初めに、「分裂説」「共成長説」「捕獲説」について読んだ時は、捕獲説が一番有り得るのではないかと思ったが、どの仮説でも説明ができなかった鉄の量については、巨大衝突説とどうやってつながるのかがとても気になった。

さらに、コンピュータシミュレーションでの検証について読んだ時は、本当にコンピュータだけで昔のことが確かめられるのが不思議に思った。

しかし、シミュレーションの画像を見ると、まるで遠くから月の誕生を見ているようで信じがたいと思っていた巨大衝突説にも納得した。

※下段へ続く

※上段からの続き

そして、今のコンピュータシミュレーションという新しい検証方法について知ることもできた。コンピュータで実験が行えるほど日々進歩しているんだと感心した。

「月の起源を探る」を読んでから、夜空に浮かぶ月を見上げると、私はいつも地球と他の惑星の衝突を想像する。「月の起源」を読んだことによって、私の中の月のイメージが前とはがらりと変わったように思う。



【担任 田中先生のコメントから】

起承転結がはつきりとして、明確な意見や感想が書かれた良い作文です。

科学技術の進歩はめざましく、月の誕生というばかりでなく、地球がどうあったかというシミュレーションまで仮説を立て検証することができず。この単元には、科学の力という点でいろいろ考えさせられることがあります。しかし、どのような仮説も決して過去に戻って証明することができません。月のうさぎやかぐや姫の方が夢があるかな？

新規採用教員授業研修②・・3-2 藤川 泰江 先生

算数科学習 「□を使って場面を式に表そう」 11/23

学習のねらいは、求めたい数量(個数や冊数等)を、□を用いて表すことで、文章と式や図の数量関係を理解させることです。

□を使った式と文章、線分図と文章の見比べが、同じ白板上でできるように、模造紙に問題の文章を用意した学習支援がありました。この支援より、子どもたちは手元と白板を交互に見る必要がなく、白板をしっかりと見て学ぶことができ、合理的な学習ができ、効果的です。

また、誰でも発表の機会が生まれるように「ラッキーくじ」による発表者指名がありました。「ラッキー」と言うより、子どもたちにとっては、「ハラハラドキドキのくじ」のようで、ちょっとしたお楽しみ感覚があったようで、楽しんでいました。

落ち着いたある、教室が整然と片付いた中で授業が展開されていました。



式と文章との関係を説明している様子から



**悪天候、緊急時等における学校の対応、連絡等について（お知らせ）**

日頃より、本校の教育活動へのご理解とご支援に、感謝申し上げます。

さて、冬の時期を迎えたこの期に、今後予想される悪天候等の緊急を要する学校の対応、連絡などについて、お知らせをいたします。

円滑な対応、連絡を実施する上では、保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠ですので、よろしくお願いいたします。

記

**休校する場合****＜ 前 日 ＞**

前日に休校を決定した場合は、その時点で連絡します。

**\* 出来る限り、一斉メール送信をします。**

（事務所から一斉メール等ができない場合は、学級連絡網）

**\* 学校のホームページにも掲載します。**

必要に応じてご確認ください。

**＜ 当 日 ＞**

朝6時30分～7時30分の間

学級連絡網を通じて、各家庭に休校の連絡を致します。

当日の朝7時30分までに連絡がない場合は、平常通りに学校があります。

\* 学校のホームページにも掲載しますので、必要に応じてご確認ください。

**（注意）**

通学地域は広範囲に及んでおり、地域により状況に違いが生じます。そのため、開校していてもルートによってはスクールバスが運休する場合があります。各自でバスストップまで行き確認して下さい。

運休時の登校につきましては、ご家庭の判断に委ねます。

**早めの下校の場合**

早めの下校が必要と判断した場合

- (1) **学級連絡網**を通じて、時間を繰り上げてのお迎えをお願い致します。
- (2) 保護者が迎えに来るまで、子ども達は教室で待機させます。  
**直接各教室に行き、担任の確認**を受けて下さい。
- (3) 迎えが困難で、**他の方にお迎えを依頼する場合は、必ず学校に連絡**して下さい。

**◎お願い**

※緊急時はもちろん、日頃より、**登校日には、いつでも学校から確実に連絡がとれるようにしておいて下さい。**

**学級連絡網の活用方法**

※この連絡体制は、他の場合も同様です。

- (1) **連絡を受けたら、至急次の方に連絡**して下さい。
- (2) 相手が **不在の場合**（留守番電話の時を含む）は、**その次の方に連絡**して下さい。
  - ① 不在の人には、何度か連絡を試みて下さい。
  - ② 留守番電話のメッセージを聞かれた方は、メッセージを残した方にその旨連絡して下さい。
  - ③ 最終的に連絡がとれない場合は、担任までその旨をご連絡下さい。
- (3) **最後の家庭は、連絡を受けたことを担任まで連絡**して下さい。

## 2020 ハーフデイ・ホームステイプログラムのご案内

ポートランド商工会では、日本語を学ぶ現地高校生に日本文化に触れる機会を提供する、“ハーフデイ・ホームステイ”プログラムを毎年実施しています。

このプログラムの発端は、日本語を学ぶ現地高校生に、教室の中だけでなく、直に日本文化・習慣に触れる機会を提供したいという考えから始まったものです。

当地は全米の中でも日本語を学ぶ生徒・学生が多い地区であり、より多くの生徒達に参加してもらえよう多数のご家庭からのご協力をお願いしたい所存です。

2020 年度の実施概要は以下の通りです。

対象地区: ポートランド、バンクーバー、セーラム近郊のご家庭

実施日: 2020 年 2 月・・・29 日(土)

3 月・・・ 1 日(日)、 7 日(土)、 8 日(日)

◆ 追って生徒との日程調整が必要となります。

◆ 例年、お昼頃 2～3 時間のホームステイとなります。

参加申し込み締切: 2020 年 1 月 9 日(木)



- \* ご家族でのお申し込みでも、ご単身での申し込みでも歓迎です。
- \* 日本語(初級)を習っている現地高校生が 3～4 名訪問します。  
数に限りはございますが、ご希望の方には、カルタ等の遊び道具、書道具等をご用意させていただく事も可能ですので、商工会事務局または総務委員担当までお早めにお問い合わせ下さい。



### ☆ 高校生の日本語能力レベルについて:

簡単な挨拶程度のレベルから日常会話ができるレベルまでさまざまです。英語による会話が主となることもありますのでご了承下さい。日本語を学習し始めた生徒達も、このホームステイを通し、日本により興味を持って欲しいと思います。

### ☆ 訪問時のアクティビティについて:

今までのハーフデイ・ホームステイで喜ばれたものは、やはり美味しい日本食です。中でも、一緒にお料理をして食べるという体験型のアクティビティはとても楽しかったようです。浴衣の試着、ゲームやカラオケなども大人気でした。

また、それ以上に、実際に日本人の方々と交流できたことがとても嬉しかったという生徒が大勢いました。

お互いに写真を見せ合いながらいろいろな話をする事も、一つのアイデアだと思います。



是非この機会に地域社会への貢献の意味も含め、皆様の積極的な受け入れを賜りますようお願い致します。

当プログラムへのご協力を希望される方は、下記商工会事務局までご連絡ください。

✉ [admini@shokookai.org](mailto:admini@shokookai.org)

☎ (503) 644-9579